



首座法戦式 広厳寺徒弟 神田孝純

H13.10.20-21 黒川村夏井 円福寺晋山結制式

# 乗雲

寺報 第56号

H14.3.18 発行

広厳寺

〒959-2646 新潟県

北蒲原郡中条町

西栄町 2-8

TEL0254-43-2419

FAX0254-43-4560

振替

00650-4-5381

住職 神田英俊

Eメールアドレス

kogonji@xyj.co.jp

## しゅそほつせんしき 首座法戦式

平成十三年十月二十、二十一日の両日、黒川村夏井の円福寺  
さまでは十九世蒲木悦恵住職の晋山結制式が厳肅かつ盛大に挙  
行された。教員生活をスッパリ断ち切ったこと、見事でした。

この勝縁に広厳寺の弟子、長男神田孝純が得度に次いで第二  
の出世である首座法戦式を上げた。お寺での修行の先頭に立つ  
て励む人を首座和尚といい、別の呼び名でお長老さんとも呼ば  
れている。結制では大事な役目をなす。この春から駒澤の仏教  
学部二年生、大学で学科、実地は永平寺へ行つてから学ぶ。こ  
のたびの円福寺さまのご縁は生涯忘れないものとなるでし  
ょう。お釈迦さまのお弟子としての成長を願っています。

三月十五日は月遅れの涅槃会（お釈迦さまがお亡くなりにな  
った日）。涅槃図を掛け、涅槃団子をお供えして、お釈迦さまの  
最後の教え「仏遺教経」を読誦します。「汝等比丘・修行する  
ものたちよ、」で始まるこのお経は人々の生き方をわかり易く説  
かれていた。「諸の飲食を受けては、当に薬を服するが如くすべ  
し」、「多欲の人は利を求むること多きが故に苦惱も亦た多し、小  
欲の人は無求無欲なればすなわち此の患無し」「諸の苦惱を脱せ  
んと欲せば、当に知足を觀すべし」「一字一字ゆっくり読んでお  
釈迦さまを偲びます。涅槃会のたびに、ほとけさまとのご縁を  
有難く感じています。